

## 令和5年度 国臨協関信支部ホームページ挨拶

国臨協関信支部長 吉田 茂久

令和5年5月8日(月)を締め切りとしてご提出いただいた「電磁的表決における表決」の決議による「第51回国立病院臨床検査技師協会関信支部定期総会」において役員の変更が承認され、今期で3期目の支部長を拝命しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、対面式の学会や研修会、文化活動等が中止され、Web会議システムを活用した活動にシフトチェンジし、そのメリットを大いに感じる1年間となりました。しかし、その反面で支部役員が定期総会・研修会などに直接参加して行う情報提供や懇親会を通じての人的交流や情報交換などを十分に行うことができず、あらためて継続的な地区会との連携と協働が果たす役割の大きさを感じています。

猛威を振るったコロナ禍も完全な終息とはなっていませんが、終わりの気配(コロナと共存)が見えてきました。途絶えがちになっていた交流も徐々にではありますが再開されることが予想されます。

役員一同、気持ちを新たに「将来の国臨協関信支部の在り方」を見据えて、誠心誠意、力を尽くして会務に取り組んで参ります。ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今期は役員が3名入れ代わりしました。新理事2名は栃木地区会長、千葉地区会長のご協力を得て、今年度も10地区会に原則1名の理事を配することができました。また、支部事業運営全般の責任者となる事務局長が2年ぶりに交代となります。後任はNHOさいがた医療センターの白井洋平氏が務めます。理事の経験はありませんが、学術委員会発足時から委員として学術活動に携わっていただきました。学術委員会での経験を活かして、ボトムアップにつなげていただければと思います。新理事については、至らない点も多々あるかと存じますが長い目で見守っていただければ幸いです。

今年度の新事業については、(1) 関信支部ホームページに「会員の皆様の声」募集送信プラットフォームを新設しました。会員の皆様方から幅広くご意見、ご質問、ご要望などをいただくことで支部活動の質の向上に向けて役立ててまいります。「会員の皆様の声」の設置規程はホームページ(関信支部規約類)でご確認ください。(2) 関信支部ホームページ関連業務の外部委託化に関する調査

(期間:5月~12月まで)を行います。目的は会員の皆様方の利便性の向上と役員の業務負担の軽減を図るため、外部委託(またはシステム改修を含む)を念頭に実施します。調査結果は令和5年度地区代表者会議(2024年1月初旬開催)にて調査内容の報告を行い、第52回関信支部定期総会に令和6年度新規事業(案)として提出するか判断する予定です。継続事業としては、(1)昨年に引き続きWeb会議システム(ZoomProウェビナー)を支部運営や学術研修会(ライブ配信・オンデマンド配信)などに活用を促進します。(2)広報活動はホームページやSNSなどを用いて情報を得る手段(媒体)が多様化していることや、会員の手に取って読んでもらえるために個性を出し、読みやすさ&伝わりやすさを意識した内容の会誌にリニューアルをおこなうため、支部ニュース(紙面発行)の発行回数を年3回に変更し、役員の業務負担の軽減化と経費の節減を図ります。是非、手に取ってご愛読いただけます様をお願い致します。(3)9月2日(土)第51回国臨協関信支部学会をWeb(EventIn:多機能型イベントプラットフォーム)を用いて、テーマを「原点回帰~今、私たちにできること~」として開催します。

多数の演題発表がされます。学会への参加は新しい気づきが生まれる機会ともなります。興味ある発表をたくさんご視聴いただき、できればときおり質問を試みるのも良いかもしれません!質問は「素朴な質問」でも良いですし「わからないこと」「もっと知りたいこと」でも大丈夫です。学会参加を通じてワクワクするだけでもOKです!新人職員を含め多くの会員の皆様方のご参加をお待ちしています。

最後に令和5年度も地区会、国臨協本部、技師長協議会、関東信越グループ専門職等と協力し、会員の皆様方からの声を真摯に受け止めて一步一步着実に支部活動を進めてまいります。これまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。